

一般情報

ベトナム ESI 地図の索引-40 は、北緯 9°09'36"~9°16'04"および東経 104°45'02"~104°51'36"に位置する。海岸線は、チャンヴァントイ地区に位置している。

海岸線

この地域の海岸線は、露出した干潟または低木-灌木湿地、マングローブからなる。しかしながら、主なタイプは低灌木湿地の海岸線である。

この地域のマングローブの主なタイプは、ヒルギ科およびヒルギダマシ科である。内陸のデルタ地帯には、マングローブ森の生態系がある。

露出した干潟は、カインビンタイ村(Khanh Binh Tay)で見受けられる。村はマングローブの外側である。海岸線の特徴は以下の通りである:この海岸線の流送土砂は水で飽和した状態にあり、これにより油の浸透は制限される。走行可能性の悪さ、高い埋込密度および 10 度に満たない傾斜もこのエリアの特徴である。人の往来が増加することにより、油が基層により深く押し込まれ清掃作業が困難になる可能性がある。この海岸線のタイプは、露出干潟としてランク 7 に分類される。

低木-灌木湿地およびマングローブは、カインビンタイバク村(Khanh Binh Tay Bac)およびカインビンタイ村で見受けられる。海岸線の特徴は以下の通りである:基層は概して平坦であり、有機質の泥土が集中して存在する。このタイプの海岸線はよく草本系または樹木系の植物で覆われている。清掃作業は、この敏感な生態系に重大な損害および長期の影響を引き起こす傾向がある。このタイプは最も脆弱性の高いエリアである。この海岸線のタイプは、低木-灌木湿地、マングローブとしてランク 10B に分類される。

生物資源

ソリハシシギ、イソシギ、ムナグロ、コサギ、ツルクイナ、セイケイ等を含む鳥類が沿岸地域に生息している。

イシモチ、ネツタイヒイラギ、センニンフグ、ニベ科の魚類、セイタカヒイラギ、ニセギンイワシ、タイワンサギなど、海洋魚および数種の甲殻類の生息域を地図に示した。この地域に生息するエビ類は、バナナエビ、インドエビ、シバエビ、ナガツノスベスベエビおよびそのほかのスベスベエビ属である。また、この地域には他にもスマトラカワウソ、インドコブラおよびインドニシキヘビが生息する。

人利用資源

この地域には、人が利用する資源は何もない。

油流出対応に関わる資源

この地域には、油流出対応に関わる資源は何もない。

特有の問題点

この地域特有の問題点は特にない。